

第9編
自治会活動



エビネ

自治会活動

平成 25 年度自治会会長 横山 渚砂(第 49 回生)

自治会をわかりやすく例えるなら高校で言う生徒会です。会長 1 名、副会長 1 名、会計 2 名、書記 2 名で活動しており、主に、学校行事である入学式・戴帽式・卒業式などで記念品の贈呈や式典の支援・クリスマスセレモニーの企画・実施などに携わっています。誰かに任せっきりということがなく、みんなで動きチームワークが良いところが自治会の良さであります。



副会長 横山帆波 会長 横山渚砂

自治会としての最初の活動は戴帽式です。戴帽式は各々いろいろな思いをこめて参加されるととても大切な行事です。その行事に華やかさと勉学に少しでもお力添えが出来るよう自治会では記念品、お花をお渡ししています。

自治会の仕事の中で最も大がかりの活動はクリスマスセレモニーです。クリスマスセレモニーとは、患者さまに少しでもクリスマスの雰囲気を感じてもらいたく行われる行事で、看護学生 1・2 年生が各病棟に行き、ジングルベルをベルで演奏しながら歌いに行きます。そして、去年はクリスマスカードを自分たちで作り、患者さまに受け取って頂きました。マスコットを作った年もあり、そちらは毎年クリスマスの時期になると病棟にあるクリスマスツリーに飾っていただいたりもしています。

カードやマスコットは使用する材料に決まりがあり、なかなか制作の計画が進まず、悩まされます。また、病棟によってはベルや歌は禁止なのでその確認も事前に行います。なかなか 1・2 年生が集まる機会は少ないので、学校側のご理解とご協力があり、何回か練習日を設けてもらっています。クリスマスセレモニーは、普段関わりの少ない 1・2 年生が同じ目的をもちお互いに協力しあうとても貴重な機会だと感じています。準備は半年程前から始め、とても大変ですが、看護学生みんなで頑張った甲斐あり、毎年患者さまに大変喜んでいただいています。

生徒にセレモニーについてのアンケートを実施したところ、「患者さまに喜んでもらえてとてもうれしかった」「やってよかった」などの意見が多くあり、私たちもとても嬉しく思います。

どの行事も事前から準備をし、自治会メンバーと協力し合い、ときにはクラスの代表としてクラスをまとめるのでクラスの協力が必要不可欠です。大変だと思うこともありますが、行事を終えた時の達成感はそれだけ頑張った証でありとても素晴らしいものです。自治会はみなさんの協力なしでは成り立ちません。協力して下さる先生方や看護学生のみなさんにはとても感謝しています。協力してもらえるように頑張ることは将来看護師になり患者さまとの信頼関係を築くことに繋がると 생각합니다。看護専門学校は 50 回生で終わってしまいましたが最後まで自治会の仕事を引き継ぎ、これからも協力してもらえよう自治会を目指し、有終の美を飾りたいと思います。

式典



自治会他からの花束贈呈



式典では、自治会や学校から記念品が贈られる。

クリスマスセレモニー



造花やマスコット、クリスマスカードを患者さん全員分作って、歌を歌いながら患者さんの元に。

